

三者懇談会共同事業

平成23年度 総合型地域スポーツクラブ スポーツ交流大会

谷川 尚己

1. 三者懇談会とは

(1) 本学開学のコンセプト

◇教育・研究だけでなく、地域と融和を図り、県民・町民の生涯スポーツへの参画やスポーツ行政に積極的に関わる



大学存在の大きな意義

◇滋賀県のスポーツ振興計画への積極的な協力、地域スポーツの指導・育成



スポーツ振興の活動拠点の中核としての役割

推進拠点・・・「スポーツ開発・支援センター」（開学当初から設置）

(2) 三者（本学・滋賀県教育委員会・滋賀県体育協会）の連携

◇県教育委員会スポーツ健康課等の実施する事業への参画（講演等）

◇県体育協会広域スポーツセンターの運営や総合型地域スポーツクラブの創設・運営への指導助言並びにスポーツ指導者活用事業への協力

◇本学学外講師の派遣（県教育委員会・県体育協会）

(3) 三者懇談会の経緯

◇平成14年「滋賀の体育・スポーツを考える会」開催（本学開学前年）

テーマ 1) びわこ成蹊スポーツ大学（仮称）の概要

2) 大学と県体育・スポーツ関係機関との連携

以後、毎年、三者による懇談会を開催し、連携を取っている。平成22年8月には、懇談会だけではなく、研究や共同事業の開催を推進する方向性が報告された。これを受け、平成23年度に「総合型地域スポーツクラブ スポーツ交流大会」を本学で開催する方向性が提案された。

2. 総合型地域スポーツクラブ スポーツ交流大会とは

(1) 趣旨

設立済みクラブ・設立準備中のクラブの会員やスタッフが一堂に会し、スポーツを通してクラブ間の親睦と交流を深め、「総合型地域スポーツクラブ」を県民に広くアピールすることを目的に実施されるものである。平成17年に第1回が、以後、県内を4ブロックに分け、輪番制で開催され、今回は7回目である。

(2) 大会開催に向けて

◇第1回連絡会（1月） 出席：本学開発支援センター、県体育協会

【話し合いの骨子】

総合型地域スポーツクラブ スポーツ交流大会を三者が主催として、10月29日・30日の2日間にわたって開催する。本学体育施設を会場として活用する。29日には、従来のスポーツ交流大会と本学主催のキッズイベントや高齢者を対象としたイベントを、30日は中学生を対象としたスポーツ体験イベントを開催する。

◇第2回連絡会（3月） 出席：本学開発支援センター，県体育協会，県教委スポーツ健康課

【話し合いの骨子】

第1回の内容を報告し，県教委スポーツ健康課も積極的に連携するよう要請

◇第3回連絡会（5月） 出席：本学開発支援センター，県体育協会，県教委スポーツ健康課

【話し合いの骨子】

2日間の開催要項

<p>1日目（29日）</p> <p>午前の部 「総合型地域スポーツクラブスポーツ交流大会」</p> <p>スポーツ交流大会実行委員会（主管）により検討</p> <p>午後の部 キッズや中高齢者等を対象とした体験型スポーツ教室</p> <p>本学が中心となって開催（水中ウォーキング，ストックウォーキング，キッズプログラム，アルティメット他）</p> <p>2日目（30日）</p> <p>中学生を対象としたスポーツ教室（テニス，野球，サッカー，バレーボール他）</p> <p>両日，スポーツ弁当の販売</p>

を提示し，検討する。以後，担当者間で微調整を行い，開催につなげることを確認する。

3. 「総合型地域スポーツクラブ スポーツ交流大会」（10月29日）

【日程】

- 9：00 受付
- 9：20 開会式
- 9：40 交流大会 競技の部予選
 - ソフトボール（マルチフィールド）
 - ビーチボール（メインアリーナ）
 - ソフトバレーボール，卓球（マルチアリーナ）
- かけっこ教室（びわこフィールド）
- 11：30 交流大会 競技の部予選終了
 - 50mダッシュ王選手権
- 12：00 体験教室の部

教室名	担当者	会場
ジャイロキネシス	藤松 典子	ダンス場
ダンスエクササイズ	森川みえこ	柔道場
ここでしかできない筋力トレーニング教室	岩井 雄史	トレーニングルーム
サッカー教室	松田 保	マルチフィールド
アルティメット体験教室	吉田 政幸	びわこフィールド
トランポリン体験教室	松山 尚道	マルチアリーナ
スナッグゴルフ（？）をしよう	谷川 尚己	びわこフィールド
スポーツ弁当を食べてみよう	中村 亜紀	クラブハウス 2階

14:30 交流大会 競技の部決勝

16:00 競技終了

閉会式・表彰式

【参加クラブ】

大津市：BIWAKO SPORTS CLUB

高島市：いまづジョイナスクラブ，T S C

草津市：くさつ健・交クラブ

栗東市：治西ゆうあいスポーツクラブ

野洲市：さざなみスポーツクラブ，Y A S

Uほほえみクラブ

甲賀市：伴谷BANBANクラブ，レイン

ボークラブ，こうかサスケくらぶ，ほ

ぼんた倶楽部，綾野ゆうゆうクラブ，

K O H N A N忍にんスポーツクラブ，

はーと貴生川スポーツクラブ

東近江市：コミスポようかいち，ことう健

康夢クラブ

米原市：M O Sスポーツクラブ，いぶきス

ポーツクラブ，カモンスポーツクラブ

愛荘町：Eスポ・えちがわ

※レイカディア大学米原校

4. 「ジュニアスポーツ教室 in びわこ成蹊
スポーツ大学」(10月30日)

【日程】

10:00~12:00

教室名	講師・担当者	教室名	講師・担当者
テニス 教室	植田 実, テニス部	野球 教室	高橋 佳三
サッカー 教室	松田 保, サッカー部	陸上 教室	東 芳生 (県体育協会) 東 大輔 (県陸上競技 協会)

			中山 亮, 陸上競技部
バスケット ボール 教室	バスケット ボール部 谷川尚己(会 場担当)	バレー ボール 教室	比良岡利夫 (県バレー ボール協会) 内山 亜弥 (県体育協会) バレーボール 部OG

5. 成果，課題について

連絡会等を開き，三者が共同することによって，初めて交流会等を開催することができた。「総合型地域スポーツクラブ スポーツ交流大会」は，県内の47クラブが交流する事業で，12月に開催されていた．今回，例年より1ヶ月早い開催となったため，各クラブ独自の事業と重複し，参加クラブが少なくなったのは残念であった．しかしながら，三者が共同で交流会等の取り組みを開催できたことは1歩前進と考えても良いだろう．本学としては，開発支援センターが中心となって，会場や開催種目等の調整を行い，県内の人々に施設を利用していただくとともに，教職員の指導を含め，県民の人々に「びわこ成蹊スポーツ大学」を認知していただき，一定の役割は果たせたと考えられる．また，中学生といった若い世代が本学でのスポーツ教室を体験したことは，有意義だったと思われる．

本事業を開催するに当たって，三者にやや温度差のあったことは残念であったが，今後修正を加え，本学がスポーツの中心としての位置づけがなされるよう，継続開催していくことが重要だと考える．そして，

可能な限り、本学運動部が試合等を調整し、より多くの種目を開催できる日程を設定し、県民の人々にその存在をアピールすることができればと考える。

次年度に向け引き続き教職員の方々のご協力をお願いするものである。

